

# 武蔵村山市 市制施行50周年 記念誌

～みんなで未来をつむぐまち～



Musashimurayama City 50th Anniversary  
Commemorative Publication  
—A city forging the future together—

50th  
Anniversary



## 次の50年に向けて 今、市民とともに

本市は、昭和45年11月3日に市制を施行し、今年で50周年を迎えます。

市制施行当時の高橋市長は、こう語っています。

—私は、これらの「都市づくり」の推進とともに、子供が愛しみ育てられ、老人が敬愛され市民一人一人が健康で、希望に満ちた生活を送ることができる「暮らしづくり」を充実する必要があると考えております。—(市報むさしむらやま昭和45年11月3日発行第95号より一部抜粋)

50年経った現在でも、人と人との「絆」を何より大切に考え、「人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま」という将来都市像の実現に向けたまちづくりに取り組んでいます。

先人の方々の努力により成長してきた武蔵村山市の姿、魅力、そして、これからの武蔵村山市の可能性をこの記念誌で紹介しています。

御協力いただいた市民の皆様、ゆかりのある方々に改めて厚く御礼申し上げるとともに、この記念誌が皆様にとって本市への愛着をより一層深めていただく一助となれば幸いです。

結びに、次の50年に向け、「コロナ禍」の時代を乗り越え、安心・安全を第一に、人と人との「絆」を大切に、これからも市民の皆様と共につむぎあいながら、やさしいまちづくりを進めてまいります。

武蔵村山市長 **藤野 勝**

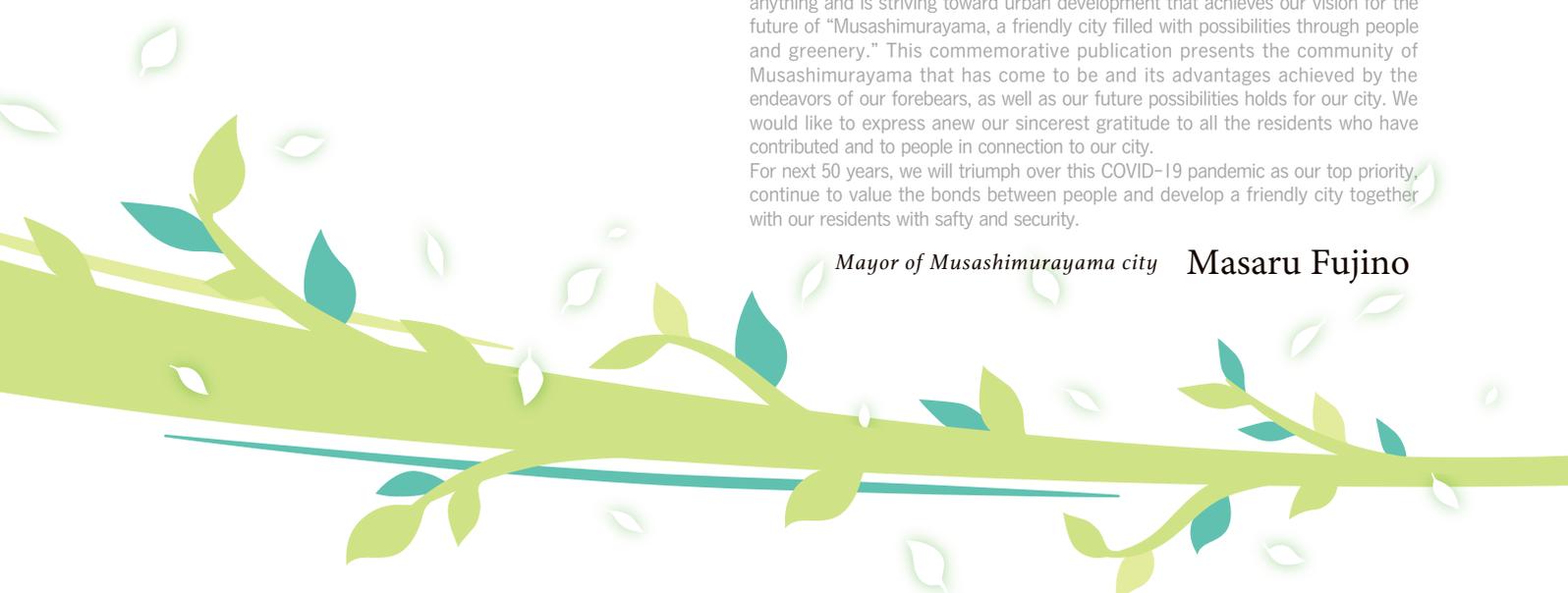
### Looking ahead to the next 50 years together with our residents

Our city, established on November 3, 1970, celebrates its 50th anniversary this year. At the time of our city's establishment, Mayor Takahashi stated, "Together with promoting these urban development plans, I must cultivate development of the living environment so that children will be raised with love, senior citizens will be respected, and each and every resident can live their life healthy with full of hope." (Excerpt from November 3, 1970 Musashimurayama City Bulletin Issue No. 95)

It's been 50 years since then, our city values the bonds between people more than anything and is striving toward urban development that achieves our vision for the future of "Musashimurayama, a friendly city filled with possibilities through people and greenery." This commemorative publication presents the community of Musashimurayama that has come to be and its advantages achieved by the endeavors of our forebears, as well as our future possibilities holds for our city. We would like to express anew our sincerest gratitude to all the residents who have contributed and to people in connection to our city.

For next 50 years, we will triumph over this COVID-19 pandemic as our top priority, continue to value the bonds between people and develop a friendly city together with our residents with safety and security.

Mayor of Musashimurayama city **Masaru Fujino**



# Contents

2 Musashimurayama Photo Gallery

## 市制施行50周年 巻頭記念特集

4 武蔵村山市50年ダイジェスト[半世紀の軌跡が今、未来をつむぐ]

6 オンライン対談 武蔵村山の魅力を考える

武蔵村山市長 藤野勝×武蔵村山市観光大使 薬丸裕英氏

9 Celebration 市制施行50周年[みんなで未来をつむぐまち]

## The Story of Musashimurayama ～笑顔をつむぐ、武蔵村山の物語～

10 Chapter I 人

12 Chapter II 緑

14 Chapter III 伝統

## みんなで未来をつむぐまち 武蔵村山市のまちづくり

16 子育て

18 教育

20 暮らし

22 環境

24 にぎわい

26 武蔵村山 大地の恵み[地域ブランド]

28 時を刻む、思いをつむぐ[歴史・文化財]

30 武蔵村山 50年の軌跡[年表]

34 Musashimurayama Data

36 Musashimurayama City Map

## Contents

2 Musashimurayama Photo Gallery

### Special Edition Commemorating the City's 50th Anniversary

4 Musashimurayama 50-Year Digest: Today, a Half-Century of History Forges the Future

6 An online conversation about the merits of Musashimurayama

Musashimurayama Mayor Masaru Fujino & Musashimurayama Tourism Ambassador Hirohide Yakumaru

9 50th Anniversary

"A City Forging the Future Together"

### The Story of Musashimurayama

—The Story of Musashimurayama: Creating Smiles—

10 Chapter I People

12 Chapter II Greenery

14 Chapter III Traditions

### A city forging the future together

Urban development in Musashimurayama

16 Parenting

18 Education

20 Living

22 Environment

24 Vitality

26 Gifts from the land in Musashimurayama

28 Historical and Cultural Assets: Marking Time and Creating Sentiment

30 Musashimurayama's 50-Year Path: A Timeline

34 Musashimurayama Data

36 Musashimurayama City Map

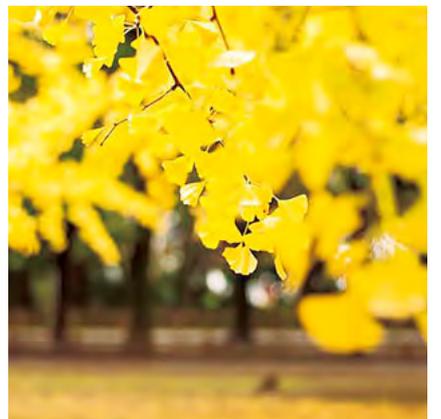
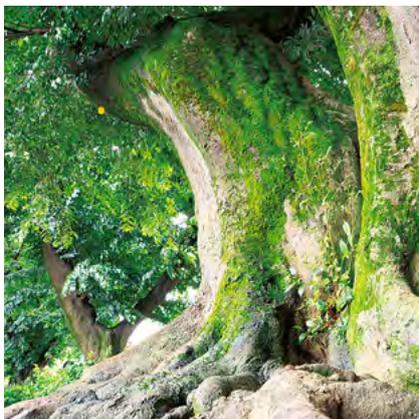
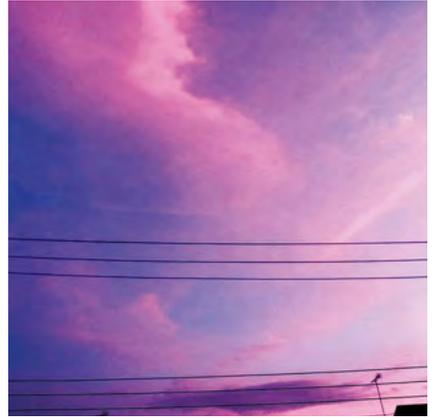
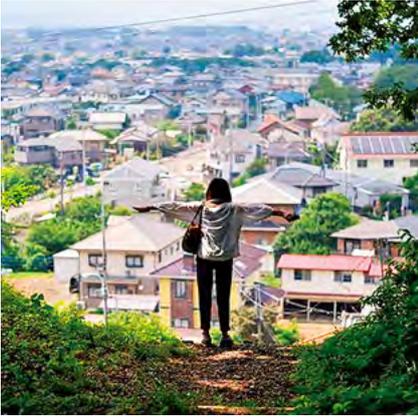
# Musashimurayama Photo Gallery



#MM50記念

InstagramやTwitterに  
投稿された、武蔵村山市の  
魅力あふれるフォトギャラリー。  
自慢の写真を、ご覧ください！





# 武蔵村山市 50年ダイジェスト

半世紀の軌跡が今、未来をつむぐ

Musashimurayama 50-Year Digest:  
Today, a Half-Century of History Forges the Future

## II 市制施行 高度経済成長期、 新たなスタートを切る



1973(昭和48)年頃の  
市役所周辺  
Around city hall in 1973



市制記念式典  
Ceremony commemorating  
the city system

1970(昭和45)年11月3日、市制が施行され、村山町は武蔵村山市になりました。当時の人口は約4万人。人口の増加は5年間で約3倍にもなりました。市は、保育所、学校、老人福祉館等の施設や行政サービスの整備を急ピッチで進めていきました。

On November 3, 1970, the municipal system of Musashimurayama city was implemented. The population at the time was 40,000, and approximately tripled in 5 years. The city moved forward at a rapid pace with preparing administrative services and facilities for matters such as childcare, schools, and eldercare.



都営村山団地の居住者は、1972(昭和47)年には2万3千人に。商店街の店舗も年々増えました。



日産自動車村山工場  
Nissan Motor Murayama Plant



かつての武蔵村山は農家が多く、町内の農道では、馬が荷を運ぶ姿も見られました。

In 1954, the town of Murayama was established from a village called Murayama. After WWII amid economic and population growth, numerous plants including Nissan Motor Murayama Plant was opened and residential houses constructed, such as the Municipal Murayama Residential Complex. Murayama transformed from a community of farms and textiles into a commuter town.

村山団地まつり  
Murayama Residential  
Complex Festival

## I 昭和期の姿 人口増加と経済発展で、 勢いを増していく武蔵村山

1954(昭和29)年に町制が施行され、村山村は村山町となりました。その後戦後の経済発展と人口増加の中、プリンス自動車工業(現日産自動車)村山工場をはじめ多数の工場が開設されるとともに、都営村山団地等が造成されました。村山町は、農業と織物のまちからベッドタウンへと変化していきました。



# IV 令和時代の幕開け

市民とともに、新たに未来をつむぐまちづくりを

市制施行50周年を迎える武蔵村山市。いつまでも住み続けたいまちを目指して、多摩都市モノレール延伸に向けた取組や国際交流が進んでいます。また、村山デエドラまつりをはじめ、市民主体でまちの魅力づくりが行われています。市民とともに、武蔵村山市は新たな未来をつむいでいきます。

Musashimurayama is marking 50 years since becoming a municipality. With the aim of being a community that the residents want to keep living, our city is moving forward with endeavors to extend the Tama Monorail and international exchange. Efforts to make the city more attractive, holding the Murayama DEDARA Festival, are carried out by the residents themselves. Musashimurayama is going to forge a new future hand in hand with the residents.



## モノレール延伸等を見据えたまちづくり構想

Urban development plan anticipating extension of the monorail, etc.



多摩都市モノレールが通ったら、もっと多くの人に武蔵村山の魅力を知ってもらえると思います。



## モンゴル国とのホストタウン交流事業

A host town exchange program with Mongolia

# III 平成期に突入

便利で暮らしやすく、にぎわいあるまちづくりが進む



村山温泉「かたくりの湯」  
Murayama Onsen "Katakuri no Yu"



イオンモールむさし村山  
Aeon Mall Musashimurayama

バブル経済崩壊や人口減少等の影響を受けて、まちは新たな局面を迎えます。都市基盤の整備とともに、にぎわい創出に向けた取組が展開され、観光スポット、大型商業施設等がオープン。2006(平成18)年には、第1回村山デエドラまつりが開催されました。

The city faced a new situation as a result of issues including a declining population and the economic bubble bursting. Initiatives aiming to both improving urban infrastructure and creating economic activity were carried out. And also some tourism sites and large commercial facilities were opened. In 2006, the 1st Murayama DEDARA Festival was held.



カラフルで種類豊富な村山デエドラまつりのねぶた。開催当初はダイダラボッチがモチーフでした。

村山デエドラまつり  
Murayama DEDARA Festival



市制施行  
50周年

巻頭記念特集

オンライン対談

# 武蔵村山の 魅力 を考える

An online conversation  
about the merits of Musashimurayama

武蔵村山市観光大使の薬丸裕英氏と、  
武蔵村山市長の藤野勝。  
市民とともにPR活動をしてきた二人が、  
50周年の節目に、改めて、  
武蔵村山の魅力を語り合いました。

観光大使として、  
武蔵村山市の知名度を  
高めていきたいです！



こんにちは。  
今日はよろしくお願いします。

よろしくお願いします。  
武蔵村山市は今年でついに、50  
周年を迎えますね。



そうですね。私は1965(昭和40)  
年、村山町役場に入庁し、市制  
施行以降は、武蔵村山市役所  
で奉職しました。公務員生活55  
年と、長い間行政を担い、まち  
の発展と変遷を肌で感じてしま  
した。都営村山団地建設、プリ  
ンス自動車工業村山工場オー  
プンなども間近に見てきました。今  
や、自分は武蔵村山市の「生き  
字引き」だと自負しています。

武蔵村山市観光大使

## 薬丸 裕英氏

Tourism Ambassador Hirohide Yakumaru

俳優・タレント。1982(昭和57)年、シブがき隊としてデビュー。現在はドラマ、  
バラエティー、CM等で活躍。2018(平成30)年、観光大使就任。

それは素晴らしいですね。私は  
小・中学生の少年時代を武蔵  
村山市で過ごしました。当時は  
野球やサッカーなど、スポーツに  
明け暮れる日々を送っていました  
ね。大南公園はよく朝練をした  
思い出の場所です。





市民と手を携え、  
武蔵村山市ならではの  
魅力を生かした  
まちづくりを!



そうでしたか。子ども時代を過ごす中、きっと武蔵村山市の良さを存分に感じてきたことでしょう。



はい。家の裏手には茶畑があり、窓からお茶の香りが漂ってきたことをよく覚えています。思わず深呼吸し、子どもながらに心身が洗われるような気持ちでした。

武蔵村山市長

# 藤野 勝

Musashimurayama Mayor Masaru Fujino

生まれも育ちも武蔵村山。1965(昭和40)年、村山町役場入庁。武蔵村山市役所では企画財政部長等を歴任。2010(平成22)年、市長に就任。現在3期目。

私は時々、家族で市内をドライブし、かつて住んでいた辺りや通っていた学校の近くなどを訪れるのですが、子どもたちは、「東京に、こんなにのどかな場所があるんだ!」と驚きます。こうした魅力を、子育て世代の方にももっと知ってほしいなと思います。



そうですね。武蔵村山市の合計特殊出生率は1.55と、都内の市部・区部トップを誇ります。豊かな緑、治安の良さ、落ち着いた住環境などが、子育てをする拠点にふさわしいと人気を呼んでいます。

都心から近く、子育て世代がマイホームを建てるにも理想的な場所ですね。



これからもっとPRしていきたいですね。薬丸さんには、観光大使としてまちの魅力を大いに発信していただき、本当に嬉しく思います。市民の方々の反響もとても大きいです。



茶畑の広がる田園風景や、「緑の島」と呼ばれる狭山丘陵。都心から近いにもかかわらず、豊かな自然に恵まれていることは、武蔵村山市ならではの魅力ですね。

おじいちゃん、おばあちゃんの家に来た時のような、良い意味での田舎の雰囲気がありますよね。



大型ショッピングモールがオープンするなど、便利になる一方で、のどかな雰囲気や、人情味のある近所づきあいなど、なつかしさ、温かさもあります。



オンライン対談

# 武蔵村山の 魅力を 考える

An online conversation  
about the merits of Musashimurayama



50周年を迎える2020(令和2)年は、新型コロナウイルスの影響で世界的にも大変な年となってしまいましたが、私は、今こそ、これからのまちづくりを考えていくべきだと思います。たとえば、今回のコロナ禍で、安全に過ごす住まいづくりに注目した方や、家族の大切さを改めて実感した方も多いのではないのでしょうか。



▲ 武蔵村山名物「村山かとうどん粋麺選手権」では、審査委員を務める。

武蔵村山市は、そういう観点から見ると、好条件に恵まれています。都内に位置しながら、ソーシャルディスタンスを実現しやすいゆとりがあり、緑豊かで心身が安らぐ。住まいを築く拠点として、とても優れたまちだと思います。まちの強みを生かしつつ、家族が幸せに過ごす住まいづくりを支える。そんなまちづくりを実現できたらとても良いと思います。



観光大使就任以来、デエダラまつりに参加したり、レギュラー番組で武蔵村山市を紹介したりと活動してきました。オフの日は家族で市内のショッピングモールに行くこともあります。そんな中で、私自身も最近の武蔵村山市の様子を知ることができ、嬉しいですね。多摩都市モノレール延伸など、まちの今後にも期待が高まります。



そうですね。市民の方の中にも、まちの未来を考えて、「もっと武蔵村山市をPRしないと!」と頑張る方がたくさんいます。長年お住まいの方だけでなく、最近移り住んできた方や、若い世代の方の中にも、まちの活性化に尽力してくださる方が多く、大変感謝しています。



これからも、みんなで手を携えてまちづくりをしていけると良いですね。



はい。50周年の節目を機に、多摩都市モノレール延伸をはじめ、住みよいまちづくりにも力を入れていきたいです。



おっしゃるとおりです。武蔵村山市ならではの緑と調和したまちなみを、これからも守り、生かしていきたいですね。そして、誰もが幸せに暮らせるまちづくりを、市民とともに進めていきたいと思っています。



薬丸さん、これからもよろしくお祈りします。今日はお話の中からたくさんのヒントをいただきました。どうもありがとうございました。

こちらこそ、  
どうもありがとうございました!



▲ 観光大使として活動する薬丸さん。デエダラまつりにも出演。

※ このオンライン対談は、2020(令和2)年7月28日に実施しました。

市制施行50周年

# みんなで未来をつむぐまち

50th Anniversary "A City Forging the Future Together"

1970(昭和45)年、市として歩みをはじめた武蔵村山市。

2020(令和2)年11月3日に、50周年を迎えます。

まちの節目を記念するとともに、未来に向けてさまざまな事業を展開しています。



## 記念テーマソング

Anniversary theme song

協定校の国立音楽大学の学生たちに、3曲のPRソングを作成していただきました。村山デエダラまつり等のステージでも披露されました。



## ワーキンググループミーティング

Working group meeting

公募市民が参加するワーキンググループで、50周年記念事業や、ロゴマーク、テーマ等について検討を重ねました。



## 50周年記念グッズ

50th anniversary goods

ロゴマーク入りの缶バッジやマスク等、記念グッズを作成しました。

The city of Musashimurayama was established in 1970. November 3, 2020, it marks the 50th anniversary of its founding. This year is a major milestone, and a variety of events are implemented.



市の形を背景にした、シンプルでどんな場面でも使用しやすく、わかりやすいデザインです。



モノレール市内早期延伸実現への思いを、市章から延びるモノレールで表現したデザインです。



50の数字から延びるモノレールで、市内早期延伸と次の50年の発展への思いを表現したデザインです。

## 50周年記念ロゴマーク

50th anniversary logos

市民とともに検討を重ね、50周年記念ロゴマークとして、3つのデザインを採用しました。各事業をはじめ、グッズの作成や市報等に活用しています。

# The Story of Musashimurayama

～笑顔をつむぐ、武蔵村山の物語～



## Chapter I

人と人が出会い、ふれあい、  
笑顔が広がる。  
温かいつながりが、まちの力になる。  
武蔵村山市では、日々そんな  
エピソードが生まれています。

ほっとできる居場所や、い  
ざというときも頼りにできる  
つながり。武蔵村山市では、そ  
んな素敵な人の輪が生まれて  
います。

半世紀以上の歴史を誇る  
村山団地中央商店街では、昔  
なじみの知り合い同士でおしゃ  
べりを楽しむ人々や、商店街名  
物の送迎サイクルが見られま  
す。また、市内の地域包括支援  
センターが支援する「お互いさ  
まサロン」では、世代を超えて

人々が交流し  
ており、たくさん  
の笑顔が広がっています。

そして、子育ての輪が広が  
るスポットもたくさん。児童  
館親子ひろばなどのみんな  
が気軽に集まれる場所では、  
ママ・パパが親子で訪れ、お  
しゃべりや遊びを楽しんでい  
ます。

支え合い、助け合うことの  
できる温かい関係が、まちのあ  
ちらこちらで生まれています。



**村山団地中央商店街**  
Murayama Residential  
Complex shopping area

半世紀以上の歴史を誇ります。高  
齢者にも優しい商店街を目指して、  
店主たちにより送迎サービスや  
福引イベント等が実施される、活  
気あふれる商店街です。



**ボランティア・  
市民活動センター**  
Volunteer/Civic Activity Center

ボランティアの登録・要請、NPO法人  
設立の相談、各種講座の開催等を行  
い、市民活動活性化の拠点となってい  
ます。さまざまな団体が参加する「市民  
発!!元気フェスタ」は、市民に団体の活  
動を「知ってもらおう」イベントとして毎年  
にぎわいを見せています。



## 送迎サイクル Shuttle-cycle

武蔵村山市商工会の事業として、  
村山団地中央商店街が運営する、  
無料送迎サイクルサービス。高齢  
者の買い物支援や商店街活性化の  
ために導入されました。地域ぐるみ  
での支え合いや見守りにつながって  
います。三輪自転車は、市内工業  
部会の有志11社が製作しました。





かけがえのない、絆とつながり



。りうあからさる



**お互いさまサロン**

Otagaisama Salon gathering

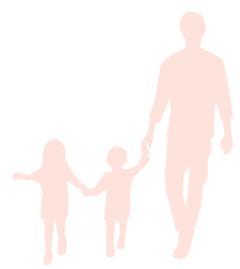
高齢者を中心に、介護予防のためのレクリエーションや講座を行っています。サロンの運営にはお互いさまリーダーを含め、たくさんの方の地域住民が関わり、世代を超えた交流が生まれています。



**児童館親子ひろば**

Children's Center  
Parent-Child Play Area

午前中の児童館で、NPO法人子育て未来ネットこどもとNPO法人いつひよファミリー・育はぐが乳幼児と保護者の方を対象に、歌遊びや絵本の読み聞かせ等を行っています。参加者同士の交流や、子育ての相談ができる居場所を提供しています。



**Chapter I People**

In Musashimurayama, you will find places to relax and connections you can depend on in times of need.

In the Murayama Residential Complex shopping area that have a history of over a half century, you can see people enjoy each other's company and the well-known shuttle-cycle. Also, people of all ages interact at the Otagaisama Salon gatherings supported by the Community General Support Center. There are also numerous places to make friends.

Many parents and children visit sites including the Parent-Child Play Area at the Children's Center to enjoy conversation and play. The city is full of warm relationships where people support and help each other.



季節のうつろいを、肌で感じられる喜び。



都立野山北・六道山公園 岸田んぼ  
Noyamakita-Rokudoyama Park rice paddies

都内に住んでいながら豊かな田園風景を楽しむことができます。水田では、市内の児童、生徒たちを中心に、たくさんの市民が体験学習を行っています。



動物や昆虫と  
ふれあえる環境

An environment where you can encounter animals and insects  
雑木林や田んぼなど、身近な場所で自然とふれあえる武蔵村山市。多くの子どもたちが、虫を観察したり、ホタルを見たりして楽しんでいます。

Chapter II

なつかしさを感じる、  
のどかな里山の風景。  
木々のざわめきや、生きものの気配。  
豊かな自然は、人々の心に  
うるおいを与えています。

緑

都内にありながら豊かな自然に恵まれた武蔵村山市。さまざまな動植物が息づく水辺や緑が広がっています。  
まちの象徴である狭山丘陵は市街地に浮かぶ「緑の島」と言われており、首都圏を代表する緑のスポットです。緩やかな地形の丘陵には雑木林が広がることも多数の谷戸が切れ込み、水が湧き出しています。

## Chapter II Greenery

Musashimurayama is blessed with rich nature. Sayama Hills, the city's symbol, is called a green island floating amid the urban environment and is a natural landscape representative of the metropolitan area. The people living here have built a mountain village culture in harmony with nature. Noyamakita-Rokudoyama Park on the hill is one of the largest parks managed by the Tokyo Metropolitan Government and has numerous and varied animals and plants. The landscape and the people's connection to nature are an important treasure to be intertwined with the future.

人々はこうした地の利をいかして、人と自然が共生する里山文化を築いてきました。また、丘陵内の都立野山北・六道山公園は、都立では最大規模を誇る都市公園です。園内にはウバユリやカタクリをはじめ多種多様な動植物が息・群生しています。訪れる人々は散策や野鳥・野草観察、森遊び等を楽しんだり、田植え・稲刈りやネイチャークラフト等を体験したりと、自然とたっぷりふれあっています。四季折々の自然の情景や、自然と人との関わりは、未来につなぎたい大切な宝です。



### 市内の桜並木

Rows of cherry trees in the city  
毎年春先には、残堀川沿いの桜並木をはじめ、まちのあちこちらが桃色に染まり、道行く人々を楽しませています。市内の公園では桜まつりも開催されています。



### 都立野山北・六道山公園

Noyamakita-Rokudoyama Park

狭山丘陵内の都市公園です。カタクリ群生地等、貴重な自然が見られます。アスレチックフィールド等もあり、子どもたちが大自然の中で思い切り遊べます。



### ひまわりガーデン武蔵村山

Sunflower Garden Musashimurayama

武蔵村山市の夏の風物詩である「ひまわりガーデン武蔵村山」。毎年5月の種まきには、小・中学生をはじめたくさんの方が参加しています。



### 村山温泉「かたくりの湯」

Murayama Onsen "Katakuri no Yu"

天然温泉が自慢の施設です。レストランやリラクゼーション設備等も備えた複合施設となっており、訪れる人々の心身を癒やす空間となっています。



### Chapter III

# 伝統

今も力強く輝く、伝統行事や文化。  
時を超えて受け継がれる人々の思いは、  
未来の物語をつむぐ、  
プロローグとなっていきます。



わたが誇る伝統を、これからも守り、育みたい。

#### 村山デエダラまつり Murayama DEDARA Festival

毎年10月下旬に開催される、市内最大の祭りです。毎年地域住民によって実行委員会が結成されています。クライマックスには、光り輝くパレード隊と市民の思いの詰まった山車が登場し、会場を盛り上げます。



### Chapter III Traditions

Traditions have been born amid a mountain village culture and agricultural history in Musashimurayama. The well-known Murayama-Kate udon is a noodle dish that has been loved and eaten since the Edo period. In addition, Murayama Oshima Tsumugi is a traditional silk textile craft that still enchants people with its comfort and beauty.

Moreover, the Murayama DEDARA Festival is an event associated with the legend of the giant, Daidarabotchi. Ornate floats and a traditional Japanese ohayashi (musical band) can be seen during the festival.

武蔵村山市では、里山文化や農の歴史の中でつむがれてきた伝統が、現在も大切に受け継がれています。

武蔵村山名物の村山かてうどんは、江戸時代からこの地で愛されてきた食べ物です。冠婚葬祭等、ハレの日にもうどんを食べていた習慣は現在にも受け継がれており、地域の祭りや宴会では、人々がうどんを食べる場面が多く見られます。

一方、市を代表する伝統工芸品、村山大島紬は、農業と織物業を中心とする人々の暮らし

しの中でつくりあげられた絹織物です。職人技を結集して作られており、着心地の良さや見た目の美しさから、現在も多くの人を魅了しています。

そして、まちが誇る一大行事の「村山デエダラまつり」。市内に古くから伝わる「ダイダラボッチ」の巨人伝説にちなんで名づけられた祭りです。山車、踊り、太鼓、お囃子のリズムとともにまちを華麗に彩るこの祭りは、伝統を大切にしながら、新たな時代へと進む武蔵村山市の姿の象徴となっています。



#### 里山民家

A traditional house of Satoyama  
都立野山北・六道山公園にあり、母屋は江戸時代の民家を復元したものです。定期的に関催されるイベントでは、里山の恵みをかきた暮らしを体験できます。



#### 村山大島紬

Murayama Oshima Tsumugi

先染した糸を織ることで柄を出す絹織物。市内にある村山織物協同組合事務所には、「伝統工芸品村山大島紬展示資料室」があり、その歴史を今に伝えています。



#### 村山かてうどん

Murayama-Kate udon

地粉を使った麺と、「かて」(季節の地場野菜)が特徴の村山かてうどん。地域の伝統食として親しまれています。市内では手打ちうどん教室等も開催されています。



みんなで未来をつむぐまち  
武蔵村山市のまちづくり

A city forging the future together  
Urban development in Musashimurayama



子育てのしやすいまちに向けて

Striving to be a city that facilitates parenting

市内には、保育所13か所、幼稚園4か所、  
認証保育所1か所があります。幼児教育・  
保育の利用料無償化を進めると同時に、  
待機児童解消や、教育・保育内容の  
充実に向けた取組を展開しています。

Parenting

A city that enables enjoyable parenting and child development

# 子育て

## 楽しい子育て・子育てをできるまち

Musashimurayama aims to provide continuous support from pregnancy through child raising. It has established facilities such as the Child/Parenting Support Center and carries out assistance that includes counseling on parenting. In addition, the city is focusing on enhancing nurseries and kindergartens, and implementing afterschool classrooms and care for children with illnesses. Furthermore, the city is promoting the creation of regional places that enable parents to interact and increase their parenting network.

全ての家庭と子どもが楽しく子育て・子育てをできるよう、さまざまな取組を展開しています。

妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援することを目指して、子ども・子育て支援センター等の拠点を整備し、育児相談をはじめとするサポートを行っています。

また、子育てのしやすいまちづくりを実現するため、保育所や幼稚園等の充実に力を入れるとともに、放課後子供教室や病児保育等を実施しています。

さらに、地域で子育ての輪を広げられるよう、親子同士で交流できる場所の創出を推進しています。



### ファミリー・サポート・センター

Family Support Center

子育ての手助けをしてほしい人と、子育てのお手伝いをしたい人を橋渡しする会員組織です。子どもの送迎や一時預かり等のサポートをしており、子育て家庭の仕事と育児の両立につながっています。



### 0歳ひろば

Play area for infants

子ども家庭支援センター内で開放している、「ひろば」。親子同士で交流したり、おしゃべりを楽しみながら、ゆったりと過ごせる空間です。子育て情報を交換したり、気軽に相談できます。



### 武蔵村山市 子ども・子育て応援ナビ

Musashimurayama Child/Parenting Support Tool

妊娠期から就学前の子育て家庭を対象とした子育て支援アプリです。予防接種や健診、各種支援、イベント情報等を見ることができます。12か国語に対応しています。



### 離乳食教室

Class on baby food

試食を交えながら離乳食の進め方を学ぶ教室です。このほかにも、パパとママのためのマタニティークラス等で妊娠・出産や育児について学べる機会を設けています。

## Interview

▶ NPO法人 子育て未来ネット こどもと 代表 原田 妙子さん



### 親子で交流しながら、息抜きできる場所づくり

未就学児と保護者が親子で遊んだり、交流を楽しめる「みんなのおうち」を運営しています。口コミで人気があり、今では市外から訪れる方もいます。私自身、4人の男の子を育てる母親なのですが、かつては、子育てする中で孤独を感じていました。そんな時、同じような境遇のママと出会い、一緒にここを立ち上げました。運営スタッフたちも、等身大の親として子育てに奮闘しています。ママ同士が集まり、コミュニケーションを取ることで、息抜きできる空間にしていきたいです。



親子で楽しめる講座・イベント

みんなで未来をつむぐまち  
武蔵村山市のまちづくり

A city forging the future together  
Urban development in Musashimurayama



小中一貫教育

Integrated education  
in elementary and junior high schools

施設一体型、施設隣接型、施設分離型、それぞれの良さをいかして、市内の小・中学校において小中一貫教育を推進しています。授業や学校行事における児童・生徒の交流を通して、9年間を見通した教育を展開しています。

Education

A city where all residents can excel in their own way

# 教育

## 誰もが自分らしく輝くまち

The city is building an education environment that nurtures the potential of the children. School education develops the ability to adapt to modern society which is undergoing globalization and informatization, while simultaneously providing studies that utilize regional traditions. It is also enhancing places for residents to participate in learning opportunities and cultural endeavors so that everyone can join in activities in studies, arts, and sports.

未来を担う子どもたちの可能性を育むため、教育環境の整備に力を入れていきます。また、豊かな文化が醸成するまちづくりを推進しています。

学校教育については、外国語教育等を充実し、グローバル化や情報化の進む現代社会に適應する力を養います。同時に、地域の伝統や特徴をいかした課外学習等を行い、調和のとれた教育を実現します。さらに、一人一人をきめ細やかにケアできる教育体制を実現します。

そして、誰もが生涯を通して学習や芸術・スポーツ等に参加できるよう、学びの機会や文化活動に参加できる場を充実させます。



### 水田学習

Learning about rice paddies

野山北公園内にある水田を活用した、武蔵村山市ならではの体験学習です。小学生たちが、田植え、草取り、稲刈り、脱穀と、米作りの過程を体験し、最後は保護者の協力も得て、もちつきをします。



### ALTによる外国語授業

A foreign language class taught by an ALT

市内の小・中学校では外国語指導助手 (ALT) による授業が行われています。児童・生徒たちはネイティブ・スピーカーから英語の授業を受け、海外の文化を学んでいます。



### スポーツ体験教室

A class on real life experiences

武蔵村山市は、「スポーツ都市宣言」をしています。オリンピック・パラリンピアンを招いてスポーツ体験教室を開催するなど、子どもたちがさまざまなスポーツにふれられる機会の創出に力を入れています。



### さくらホール(市民会館)

Sakura Hall (Civic Center)

大・小ホールや展示室、会議室等を備えた文化施設です。プロによるコンサートや演劇等が上演されるほか、市民合唱団等のステージや、趣味の集まり等でも利用されており、市民の文化活動拠点となっています。

## Interview

▶ 東京都立武蔵村山高等学校 吹奏楽部 部長 神崎 まひろさん

### 高校生活を楽しみながら、 大好きな楽器を続けていきたい

武蔵村山高校はユニークで温かい先生が多く、とても楽しいです。田植えなど、このまちならではの授業も。私は中学生の時、吹奏楽部の体験に訪れたことをきっかけに進学を決めました。現在は部長を務めています。本番前など、どう演奏するかをめぐって意見が割れてしまうこともあり、まとめるのが大変です。でも、演奏が成功すると本当に嬉しくて。昨年、コンクールで優勝した際は、金賞と発表された瞬間、喜びのあまりみんなで泣いてしまいました。これからも、音楽の道を目指して頑張りたいです！



文化祭での演奏

みんなで未来をつむぐまち  
武蔵村山市のまちづくり

A city forging the future together  
Urban development in Musashimurayama



介護予防教室

Preventive care class

高齢者の健康的な日常生活を支える取組を展開しています。運動機能向上のための教室をはじめ、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等の教室を開催。介護予防リーダー育成にも力を入れています。

Living

A convenient, safe city people will want to keep living

# 暮らし

## 便利で安心な、住み続けたいまち

Musashimurayama aims to be a convenient, safe, and secure city. To assist senior citizens, the city is promoting an integrated community care system, preventive care, and measures against dementia, as well as moving forward with enriching the medical care system and welfare for persons with disabilities. It is also advancing anti-crime, anti-disaster measures. Moreover, it is promoting urban development that is highly convenient and attractive, including an urban infrastructure improvement plan.

年齢・性別、障害・病気の有無、国籍等にかかわらず、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを推進しています。また、安心・安全で便利な生活を送ることのできる、住みたいまちにしていきたいです。高齢者の暮らしや健康を支えるため、地域包括ケアシステムや介護予防・認知症対策を充実させます。また、医療体制や障害者福祉を充実させます。さらに、災害・防犯対策を進めます。そして、多摩都市モノレール延伸を見据えた都市基盤整備をはじめ、生活の利便性が高く、魅力的なまちづくりを進めます。



### 総合防災訓練

Integrated emergency response drill

市民・市・防災関係機関等が協力して行う、実践的な訓練です。初期消火訓練、応急救護訓練等の市民体験型訓練や、応急給水訓練、炊き出し訓練等の防災関係機関等活動訓練を行っています。



### 民生委員・児童委員の活動

Commissioned welfare volunteer activities

生活に不安を抱えた人や、障害のある人、一人暮らしの高齢者等が安心して生活できるよう、それぞれの地域で活動しています。困りごとの相談ののったり、助言等を行っています。



### 多摩都市モノレール延伸事業

Tama Monorail Extension Project

人々がより便利な生活を送れるよう、多摩都市モノレールの市内延伸を目指しています。導入空間ともなる新青梅街道沿道のまちづくりに取り組むと同時に、市民等との協働により機運醸成を図っています。



### 市内循環バス「MMシャトル」

City Loop Bus: MM Shuttle

「MMシャトル」の愛称で親しまれる市内循環バス。公共施設、病院、鉄道やモノレールの駅と連絡しています。市民のニーズに対応した、利便性の高い「市民の足として利用できるバス」を目指しています。

## Interview

➤ 武蔵村山市消防団 団長 **福島 浩司**さん



### 自分たちの安全は、 自分たちで守る

現在、8個分団と女性部、総勢186名で活動しています。20～60代と幅広い年齢層が所属しており、通常訓練や有事対応はもちろん、火災啓発活動や応急救護活動も行います。実は父も消防団員でしたので、子どもの頃から、有事の際には夜中でも飛び起きて現場に駆けつける親の背中を見て育ちました。入団もない頃、有事対応で初めて消防車両に乗った時に込み上げてきた「今から行くぞ!」という気持ちは忘れられません。常に、一刻も早く消火しなければ、まちの安全を守らねばという気持ちで活動しています。



消防車両

みんなで未来をつむぐまち  
武蔵村山市のまちづくり

A city forging the future together  
Urban development in Musashimurayama



都立野山北・六道山公園の自然  
Nature in Noyamakita-Rokudoyama Park

まちの北部に位置する都市公園です。狭山丘陵の麓、雑木林と谷戸が織りなす豊かな自然が広がっており、多様な動植物が生息しています。心と体をうるおす憩いのスポットとして親しまれています。

Environment

A beautiful city enveloped in rich greenery

# 環境

## 豊かな緑に包まれた美しいまち

Various initiatives are implemented to pass down the beautiful nature, including the tranquil mountain scenery and verdant green Sayama Hills.

The city works to preserve nature, provide rich opportunities to learn about the environment, and give hands-on experiences to boost people's environmental awareness. It is also promoting sustainable, eco-friendly urban development by bolstering reusable energy, promoting the 3Rs, and conducting food drives.

のどかな里山風景や緑あふれる狭山丘陵など、武蔵村山市ならではの美しい自然環境を次世代にも受け継ぐため、さまざまな取組を進めています。

まちをあげて自然保護に努めるとともに、環境学習や自然体験の機会を充実し、人々の環境意識を高めます。

また、再生可能エネルギーの普及や3Rの推進、フードドライブの実施等を通して、温室効果ガスやごみ、食品ロスを削減し、地球にやさしい、持続可能な循環型のまちづくりを進めていきます。



### 親水緑地広場

An area featuring water and greenery

市内を流れる残堀川沿いには、親水広場や緑地広場が設置されています。子どもたちが川の近くまで下りて遊んだり、人々が川沿いを散歩したりするなど、身近な緑や水辺に親しめる空間となっています。



### 環境フェスタ

Environment Festival

限りある資源の有効活用、リユースへの取組等を実践し、環境意識を高める市民参加型イベントです。フリーマーケットやフードドライブに参加したり、パネル展示を通して環境やごみ減量について学んだりできます。



### 総合運動公園運動場

Athletic Field, Comprehensive Sports Park

都立野山北・六道山公園に隣接する運動場です。周囲を緑に囲まれた気持ちの良い環境で、野球、サッカーやグラウンド・ゴルフ等を楽しめます。付近には総合体育館があり、屋内競技やトレーニングも行えます。



### フードドライブ

Food drive

市では、毎月庁舎内でフードドライブを実施しています。家庭で余っている食品をお持ちいただき、福祉団体やフードバンクに寄付します。寄付された食品は、食べ物に困っている方や施設に届けられます。

## Interview

▶ ボランティア 荒木 繁さん



### 子どもたちが虫採りに訪れる 緑あふれる公園づくり

子どもの頃から武蔵村山で暮らしています。住まいは大南公園のすぐ近くにあり、10年ほど前から、園内で草花の世話や花壇の手入れなどをしてきました。ちょうどその頃、公園周囲にジョギングコースができ、桜も植樹されるなど、整備が進んだことが活動のきっかけでした。かつては人もまばらな公園でしたが、現在は、緑豊かな憩いの空間となり、訪れる人も増えました。家族連れがお弁当を食べに訪れたり、子どもたちが虫採りに来たりと、にぎわう場所となり、嬉しいです。



緑豊かな散歩コースの整備された大南公園

みんなで未来をつむぐまち  
武蔵村山市のまちづくり

A city forging the future together  
Urban development in Musashimurayama



市内農産物の一つ、みかん

Mandarin oranges,  
a city agricultural product

市を代表する農産物、お茶のほか、みかん、なし等の果物や、さまざまな野菜が栽培されています。市内直売所では新鮮な農産物を購入できます。地元の恵みを生かした特産品開発にも力を入れています。

Vitality

An energetic city that attracts people

# にぎわい

## 活力あふれる、人々の集うまち

The city promotes the development of specialty products that use agricultural produce from within the community, such as tea and fruits. It also supports local business. It focuses on city promotion to increase the number of visitors by making the most of resources such as representative events, Murayama DEDARA Festival, and Sunflower Garden Musashimurayama to create a lively city that attracts local people and incoming people.

武蔵村山市の産業や観光資源、多様な魅力をいかしたまちづくりを進めています。農業を支えるとともに、お茶や果物等、市内の農産物を使用した特産品開発を推進します。また、市内の企業を支援すると同時に、新たに起業・創業を検討している人をサポートします。そして、まちの魅力をもっとPRする取組に力を入れ、まちを代表するイベント、村山デエダラまつり、ひまわりガーデン武蔵村山等をいかして、観光交流人口の増加を図り、市内外の人が集まるにぎやかなまちにしています。



### 大型商業施設

A large commercial facility

市内には大小さまざまな商業施設や商店街、飲食店等があり、生活に便利な商業圏が形成されています。大型商業施設ではイベントも開催され、休日になると家族連れなどでにぎわいます。



### ひまわりガーデン武蔵村山の種まき

Sowing seeds at Sunflower Garden Musashimurayama

都内有数の広大なひまわり畑、「ひまわりガーデン武蔵村山」。毎年5月下旬に、ボランティアの子どもたちや保護者の方が種まきを行っています。市民協働で、まちの新たな観光スポットが作られています。



### 「魅力マイスター」による魅力発信

A trial tour of the city's attractions

武蔵村山の魅力(自然・伝統文化・グルメ等)に携わり、優れた技能や技術を持つ方々が「魅力マイスター」として活躍しています。市の魅力を発信し、まちのにぎわい創出に力を入れています。



### むらやま創業塾「ゆめ」

Yume, a class on starting a business in the city

創業したい人、創業して間もない人が、経営や財務について学べる講座です。このほか、市ではセミナーや創業者交流会等を開催しており、新たなチャレンジをする人への支援に力を入れています。

## Interview

村山デエダラまつり実行委員会 委員長 **波多野 克典**さん



### つながりとアイデアを生かして 地域を巻き込むにぎわいづくり

武蔵村山市で生まれ育ち、市内の郵便局に勤務となりました。そのご縁から声がかかり、実行委員に。地域のためになるならと、喜んで引き受けました。運営に携わって10年以上になりますが、人とのつながりでアイデアが広がり、とても楽しいです。祭りの目玉、ねぶたは青森県むつ市の城ヶ沢佐武多実行委員の方々に制作をお願いしています。カラフルな彩色を施したり、昔話をアレンジした独自のストーリー設定をしたりと、見る方が楽しめるよう工夫しています。これからも、いろいろな方と一緒にまちを盛り上げていきたいです。



迫力満点の山車が運行。村山デエダラまつり

東京狭山茶は、狭山茶のうち、東京都内で生産されるものです。茶摘みが春と夏の2回と他の産地より少なく、コクと旨味のあるお茶になると言われています。

Tokyo Sayama tea refers to Sayama tea that has been produced in Tokyo. Because harvesting is conducted fewer times than in other production areas, the tea is said to be rich and flavorful.



茶畑の広がる景色。茶摘みの時期には、茶を蒸す香りがまちに漂います。

## 東京狭山茶

Tokyo Sayama tea



# 武蔵村山 大地の恵み

自然環境を生かして発展してきた、武蔵村山市の食と農。伝統食を大切にしながら、新たな取組も広がっています。

Gifts from the land in Musashimurayama

## 村山かてうどん

Murayama-Kate udon



武蔵村山名物の村山かてうどん。地粉を配合した冷たい麺を、魚介出汁・醤油味の温かいつけ汁に浸し、「かて」(茹でた季節の地場野菜)と一緒にいただきます。

Murayama-Kate udon is a Musashimurayama specialty. Cold noodles made with local flour are served in a warm, soy sauce-flavored seafood soup stock together with seasonal boiled vegetables called "kate."



### 村山お茶食パン

Murayama green tea bread

「石窯パン工房 もりのこむぎ」の食パンです。市内で栽培された東京狭山茶が練り込まれ、口に入れた瞬間芳醇な香りが広がります。



### 手作り村山ゆでまんじゅう

Homemade Murayama boiled manju cakes

うどん処「田舎家」で作られています。村山かてうどんで培った技を生かし、生地にはうどん粉を使用。もちもちとした食感を楽しめます。



### 自家製アイスクリーム

Homemade ice cream

「アイス工房ヴェルデ」の手作りアイスです。自家牧場の搾りたての牛乳や、多摩地域で採れた新鮮な果物を使っています。



### こまつな豆腐君

Komatsuna tofu-kun

「比留間豆腐店」で作られています。小松菜の微粒粉末が練り込まれており、鉄分豊富。ほんのり緑色で見た目にも楽しい一品です。



### 手づくり村山さんクッキー

Homemade Murayamasan cookies

「市立のぞみ福祉園」で作られています。東京狭山茶や小松菜など、市内で生産された素材を使ったクッキーも人気です。



### 村山げんこつシュー

Murayama genkotsu cream puffs

「ケーキ工房 ラブーム」で作られています。粗く砕いたアーモンドのトッピングが特徴。東京狭山茶のクリームが入った贅沢な一品です。



### むさし村山四季彩シフォン

Musashimurayama shikisai chiffon cakes

「SHOP ANNE」と「紅茶専門店 KANDY」で販売されています。生地には市内産の小麦粉を使用。旬の食材も練り込まれています。



### むらやまロール

Murayama rolls

「シャトー洋菓子店」のロールケーキです。武蔵村山産のうどん粉を使用した生地、特製のクリームがたっぷり包まれています。

## Column

### 村山うどんの会 Murayama Udon Association

村山うどんの会は、武蔵村山地域の伝統食文化である村山かてうどんの発信と、地域の発展を目指して活動しています。2020(令和2)年で発足15年を迎えました。村山かてうどんを食べられる店舗の紹介、手打ちうどん教室の開催、各種イベント会場での出展等を行っているほか、オリジナル商品の開発や、地粉の保護・増産・普及を目指した「小麦増産プロジェクト」等の取組にも力を入れています。



指田日記

Sashida Nikki

陰陽師・指田摂津正藤詮が1834(天保5)年から38年間書き綴った日記です。当時の武蔵村山地域の世情を伝える貴重な資料です。



眞福寺格天井花鳥画

Bird-and-flower painting on a coffered ceiling, Shinpuku-ji Temple

1839(天保10)年、絵師の石川文松により、眞福寺本堂外陣三間の格天井に描られました。植物、鳥類、そして龍など200枚もの絵が描かれています。

# 時を刻む、 思いをつむぐ

Historical and Cultural Assets: Marking Time and Creating Sentiment

市内のいたるところに見られる史跡や文化財の一つひとつが、先人たちのつむいできた営みと思いを伝えていきます。

武蔵村山の歴史は古く、狭山丘陵に人が住み始めたのは、約1万3千年前の縄文時代にはさかのぼります。豊富な水源のあった狭山丘陵は生活に適した良好な環境でした。丘陵の南斜面から発見された多くの土器や石器は、この地における人類の活動を伝えています。

平安時代末期になると、武蔵七党という武士団の一つである「村山党」が狭山丘陵周辺に住むようになりました。狭山丘陵に存在した多くの山々を「群山(むれやま)」と呼んでいたことが名前のルーツだと言われています。江戸時代には、この地域の村々は幕府や旗本の支配下に置かれました。多くの人々は農業を営み、農業の開発が盛んになると、先人たちは開墾を進めます。その過程で新たな村ができ、まちの原形がたちづくられていきました。

重松囃子

Jumatsu-bayashi

古谷重松氏が編み出した囃子で、テンポの良さと屋台囃子の小太鼓2つ(地と絡み)の掛け合いが特徴です。明治時代初期に市内の萩ノ尾・赤堀地区に伝えられたとされていますが、昭和初期に一度途絶えます。その後萩赤囃子連が復活させ、現在も伝統の継承が図られています。





板図案をもとに凸凹の溝を彫った板で糸を染める「板締め染色法」で染めた絁糸を使用します。



経(たて)と緯(よこ)の絁糸を柄合わせしながら織っていきます。



**村山大島紬**  
Murayama Oshima Tsumugi

村山地域は江戸時代より木綿絁の産地として知られていました。大正時代の、木綿から絹織物への転換等を経て、昭和中期に現在の村山大島紬の技術が確立されます。現在も後継者育成や保存・普及活動が盛んに行われています。

**横中馬獅子舞**  
Yokonakaba shishimai (lion dance)

五穀豊穡、無病息災、悪疫退散の祈願を目的に、長圓寺や各地区の氏神様に奉納されています。起源ははっきりしていませんが、1752(宝暦2)年頃までさかのぼると考えられています。



**三本榎**  
Sanbon Enoki (Three Hackberry Trees)

三本榎は、西から乙幡榎、加藤榎、奥住榎と呼ばれています。昔、腕自慢の若武者三人が遠矢の競争をした際、落下した場所にそれぞれの姓を付けた榎を植えた、との伝説があります。三本榎の南側の道は引又街道と呼ばれ、江戸時代には物資の輸送路として使用されていました。

The history of Musashimurayama is long. People first began living on Sayama Hills about 13,000 years ago. Sayama Hills has abundant water resources and was an ideal place to live. Many earthenware and stoneware have been discovered on the southern side of the hill. In the late Heian period, the samurai group called the Murayama Party lived in the vicinity of Sayama Hills. The slopes on Sayama Hills were called mureyama, which is where the name is said to come from. In the Edo period, villages in this region were under control of the shogunate and shogunal vassals. Many people were farmers. As land cultivation progressed, new villages were formed, and the origins of the city came into being.

# 武蔵村山

## 50年の軌跡

Musashimurayama's 50-Year Path: A Timeline

### 武蔵村山市の動き



1965(昭和40)年代頃 茶摘みの様子



1965(昭和40)年 青梅街道の様子



1970  
(昭和45年)  
11月 市制施行、市名を「武蔵村山」に。市章制定  
12月 人口41,275人、人口増加5年間で約3倍

1971  
(昭和46年)  
4月 市立つみぎ保育園開園  
5月 福祉会館開館

7月 新青梅街道市内全線開通  
10月 身体障害児室(ちいろば教室)開校

1972  
(昭和47年)  
10月 市民提案制度開始  
第1回市民総合体育大会開催  
ごみ収集市内全域ボックス化

1973  
(昭和48年)  
4月 第一老人福祉館開館  
第七小学校開校

5月 雷塚図書館開館  
10月 第一回市民大学講座開設  
12月 第一回市内駅伝競走大会開催

1974  
(昭和49年)  
3月 農業緑地保全条例施行  
6月 市立みつわ保育園開園

1975  
(昭和50年)  
2月 村山大島袖が国の「伝統工芸品」に指定  
4月 第八小学校、第三中学校開校  
5月 人口5万人突破  
11月 市の木「榎」、市の花「茶の花」制定

1976  
(昭和51年)  
4月 市文化財に眞福寺の梵鐘など11件指定  
さいかち地区児童館開館  
5月 第二学校給食センター開所

1984  
(昭和59年)  
4月 日の出町谷戸沢廃棄物広域処分場へ27市町で搬入開始  
人口6万人突破

8月 非核平和都市を宣言  
11月 町丁名地番整理で新町「中藤」が誕生

1985  
(昭和60年)  
11月 町丁名地番整理で新町「中央」が誕生

1986  
(昭和61年)  
4月 のぞみ福祉園完成  
みどりの保護及び育成に関する条例施行  
7月 公文書公開制度開始

1987  
(昭和62年)  
2月 残堀・伊奈平地区学習等供用施設開館  
9月 町丁名地番整理で新町「本町」が誕生  
11月 市総合体育館(仮称)建設検討協議会発足  
町丁名地番整理で新町「緑が丘」が誕生

1988  
(昭和63年)  
4月 第二運動場が完成し、後ヶ谷戸運動場と合わせて総合運動場として開場

1989  
(平成元年)  
1月 三本榎に樹勢回復手術  
4月 聴力障害者を対象に「身体障害者ファックス通話料の助成」、在宅高齢者の「ミドルステイ」事業開始

1990  
(平成2年)  
4月 野山北公園自転車道と武蔵野の路を結ぶ「かぶと橋」完成  
6月 個人情報保護制度開始  
7月 残堀川沿いに「親水広場」「緑地広場」完成  
町丁名地番整理で新町「三ツ木」が誕生



1980(昭和55)年 市内循環バス



1975(昭和50)年代頃 給食センター



1970(昭和45)年 市役所開庁式



1977  
(昭和52年)

2月 町丁名地番整理で新町「大南」が誕生  
4月 第四中学校開校  
中藤地区学習等供用施設開館  
三ツ木地区図書館開館  
7月 野山北公園開園  
12月 新庁舎、中部地区会館完成

1978  
(昭和53年)

2月 町丁名地番整理で新町「学園」が誕生  
7月 ごみ資源リサイクル事業開始  
野山北公園プールオープン  
10月 印鑑登録のカード化を実施  
野山北公園展望台完成  
大南公園野球場のナイター施設完成  
11月 町丁名地番整理で新町「榎」が誕生

1979  
(昭和54年)

4月 三ツ木地区学習等供用施設開館  
第二老人福祉館開館  
6月 公共下水道使用開始  
高齢者事業団発足  
8月 第一回観光納涼花火大会開催

1980  
(昭和55年)

2月 町丁名地番整理で新町「伊奈平」が誕生  
4月 第九小学校、第五中学校開校  
7月 市内循環バス運行開始  
8月 大南公園プールオープン  
保健相談センター開館  
11月 市制施行10周年記念式典を開催  
市民憲章制定

1981  
(昭和56年)

2月 町丁名地番整理で新町「残堀」が誕生  
8月 第三老人福祉館開館  
11月 歴史民俗資料館開館

1982  
(昭和57年)

2月 町丁名地番整理で新町「三ツ藤」が誕生  
4月 第十小学校開校  
6月 心身障害者を対象に「福祉タクシー制度」スタート  
10月 野山北公園が新東京百景に選ばれる

1983  
(昭和58年)

4月 大南地区学習等供用施設開館  
9月 第四老人福祉館開館  
11月 町丁名地番整理で新町「神明」が誕生  
グリーンタウン武蔵村山と昭島駅間との新バス路線開通  
市民会館開館  
12月 西武拝島線の武蔵砂川駅開設

1991  
(平成3年)

11月 市制施行20周年記念式典を開催  
長野県栄村と姉妹都市提携  
2月 玉川上水駅前広場に市内循環バス乗り入れ開始  
町丁名地番整理で新町「岸」が誕生  
3月 「双盤念仏(業師念仏鉦はり)」が都の無形民俗文化財に指定  
10月 武蔵村山郵便局開局

1992  
(平成4年)

3月 市街化区域内の公共下水道整備工事ほぼ完了  
4月 新生児に「誕生の祝」の贈呈事業開始  
11月 市役所完全週休二日制導入

1993  
(平成5年)

3月 第五老人福祉館開館  
5月 高齢者在宅サービスセンター開設  
7月 廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例を施行  
11月 町丁名地番整理で新町「中原」が誕生

1994  
(平成6年)

1月 市指定有形民俗文化財「指田日記」を発刊  
1月 市政モニター制度スタート  
4月 在宅介護支援センター開設  
防災行政無線システム稼働  
7月 ごみの新収集方式「三分別袋収集」スタート  
12月 神明ヶ谷戸大日堂の大日如来像など5件が市文化財に追加

1995  
(平成7年)

6月 行政改革本部を設置  
7月 ふれあいまちづくり宣言記念式典及び記念事業大相撲武蔵村山場所を開催  
10月 行財政運営懇談会を設置  
11月 第一回農業まつり開催  
12月 住民票発行などの電算処理システム稼働

1996  
(平成8年)

4月 子育て支援センターを開設  
6月 市役所一階に市政情報コーナーを設置  
7月 武蔵村山市行政手続条例を施行  
10月 9部39課に市役所の組織を改正

1997  
(平成9年)

1月 武蔵村山市行政改革大綱を策定  
2月 武蔵村山こども議会を開催  
4月 旧五小と旧六小を統合し、雷塚小学校開校

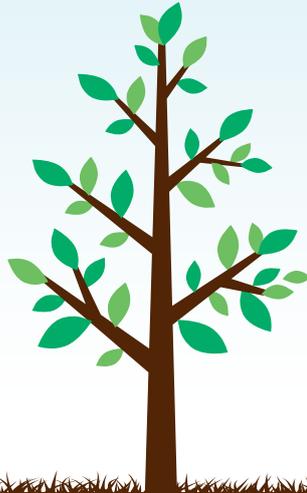
1998  
(平成10年)



2000(平成12)年 温泉スタンド



2002(平成14)年 かたくりの湯オープン



## 武蔵村山市の動き

1999  
(平成11年)  
5月 東京郵政局と共同でふれあいビデオレターを開始

7月 市報配布方法をシルバー人材センターによる戸別配布に変更  
10月 温泉スタンドがオープン  
11月 武蔵村山市ホームページを開設

2000  
(平成12年)  
4月 公民館大南分館が開館  
5月 消費生活相談を開始

8月 旧みつわ保育園跡地にシルバーワークプラザが開所  
11月 市制施行30周年記念式典を開催

2001  
(平成13年)  
3月 体験型市民農園「ふれあい農園」がオープン  
4月 第3次長期総合計画を策定

10月 ごみの新収集方式を開始  
12月 村山織物協同組合事務所など2件が市文化財に追加

2002  
(平成14年)  
4月 市民総合センターが開所  
市内で2園目の体験型市民農園「わかな農園」が中央2丁目を開園

村山温泉「かたくりの湯」がオープン、3日間市民無料開放を実施  
8月 住民基本台帳ネットワークシステム(住基ネット)を稼働

9月 医療問題協議会の病院選定審査会結果報告を受け、誘致する病院を「医療法人財団大和会」と決定

11月 病院誘致予定地を日産跡地に決定

2003  
(平成15年)  
1月 総合体育館開館  
3月 公民館閉館のついでを開館

5月 緑が丘高齢者サービスセンターが開所  
6月 屋敷山遺跡出土人面装飾付土器(把手部位破片)など2件が市文化財に追加

2004  
(平成16年)  
2月 公的個人認証サービスを開始  
4月 水道業務を段階的に東京都に移行

2009  
(平成21年)  
1月 「モノレールを呼ぼう!」延伸へ向けたシンポジウムを開催  
2月 加藤樓(二代目)を移植

9月 「モノレールを呼ぼう!」市民の会」設立

2010  
(平成22年)  
3月 武蔵村山市ホームページを全面リニューアル  
4月 小中一貫校村山学園開校

中学校給食調理等業務の一部を民間委託で実施  
6月 村山団地高齢者みまもり相談室開設

7月 市民と市長のタウンミーティングを市内6会場で実施  
10月 むさしむらやまキッズ議会を開催

2011  
(平成23年)  
2月 武蔵村山市第四次長期総合計画を策定  
3月 武蔵村山市第五次行政改革大綱を策定

4月 東日本大震災の被災地へ市職員を派遣  
9月 生活福祉課窓口が緑が丘出張所で常時開設

2012  
(平成24年)  
8月 ひまわりガーデン武蔵村山が開園  
10月 村山温泉かたくりの湯がリニューアルオープン

各市立小・中学校の代表が集い「いじめ撲滅サミット」を開催

2013  
(平成25年)  
2月 総合型地域スポーツクラブ「よってかっしえクラブ」設立  
4月 乗合タクシー「むらタク」の実証実験運行を開始

9月 武蔵村山市原動機付自転車「当地ナンパレートの交付を開始

10月 スポーツ祭東京2013ハンドボール競技会を開催。天皇皇后両陛下ご観覧

2014  
(平成26年)  
3月 情報館「えのき」がリニューアルオープン  
4月 武蔵村山MMスタンプカードを利用した市税等の納付を開始

オリジナルデザインの婚姻届出用紙の配布を開始



2018(平成30)年  
薬丸裕英氏が観光大使に就任



2018(平成30)年  
モンゴル国とのホストタウン事業

2005  
(平成17年)

8部36課に市役所の組織を改正  
4月 歴史民俗資料館がリニューアルオープン  
武蔵村山市空き缶・吸い殻等の散乱及び  
犬のふんの放置等の防止に関する条例を  
施行

9月 ファミリーサポートセンターが活動を  
開始

10月 瑞穂斎場組合に加入  
11月 市民会館がリニューアルオープン、愛称は  
「さくらホール」に決定

2006  
(平成18年)

1月 豪雪被害の姉妹都市長野県栄村に市職  
員43人を派遣、募金活動を開始  
3月 武蔵村山市第三次長期総合計画後期計  
画を策定

4月 武蔵村山市行政改革大綱を策定  
第五小学校跡地にさいかち公園開園  
による運営を開始  
9月 緑が丘ふれあいセンターがオープン  
10月 第1回村山デラマ祭り開催。2日間  
で約7万人が来場

11月 ダイヤモンドシティ・ミュー(現「イオン  
モールむさし村山」)内に交通プラザ、情  
報館「えのき」がオープン

2007  
(平成19年)

4月 見守り番大南・見守り番中原がスタート  
5月 武蔵村山市子ども人権サポーター事業  
(子ども生活相談)開始  
7月 市報むさしむらやまが800号。リニュー  
アルにより2色印刷に

9月 東京陸軍少年飛行兵学校跡地を市文化  
財(旧跡)に指定  
9月 村山温泉「かたくりの湯」の入場者が15  
0万人を達成

2008  
(平成20年)

1月 加藤榎(二本榎の一本)を伐採  
4月 7部36課に市役所の組織を改正  
人口7万人達成

6月 新大南運動広場が開場  
10月 武蔵村山ふるさと寄附制度を開始  
介護支援ボランティア事業を開始  
11月 災害情報メールの24時間体制での配信を  
開始

2015  
(平成27年)

10月 本町学童クラブが開所  
スポーツ都市を宣言  
第一小学校で開校100周年記念式典を  
挙行

4月 小中一貫校大南学園をプレ開校  
7月 乙幡市郎右衛門家文書など3件が市文  
化財に追加

8月 平和首長会議に加盟  
9月 村山温泉「かたくりの湯」来館者300万  
人達成

10月 スポーツ少年団結団式を総合体育館で  
挙行  
武蔵村山の魅力教え隊を発足

2016  
(平成28年)

3月 武蔵村山市第四次長期総合計画長期総  
合計画後期基本計画を策定  
武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合  
戦略を策定

4月 武蔵村山市第六次行政改革大綱を策定  
小中一貫校大南学園を本開校  
乗合タクシー「むらタク」の本格運行を  
開始

5月 熊本地震の被災地へ市職員を派遣  
7月 出産・子育て応援事業「ハグはぐむらや  
ま」を開設  
9月 市立歴史民俗資料館分館を開館  
10月 湖南地区集会所を開所  
第11回小中一貫教育全国サミットin武  
蔵村山を開催

2017  
(平成29年)

2月 在宅医療・介護連携支援センターを開設  
10月 市役所本庁舎及び緑が丘出張所に消費  
生活センターを開設  
11月 市報1000号を発行  
第一中学校で開校70周年記念式典を挙行

12月 東京2020オリンピック・パラリンピッ  
ク競技大会モンゴル国のホストタウンに  
登録

2018  
(平成30年)

3月 村山温泉「かたくりの湯」がリニューアル  
オープン

6月 タレントの薬丸裕英氏を観光大使に委嘱  
7月 モンゴル国ウランバートル市ハンオール区  
とホストタウン事業に関する覚書を締結

# Musashimurayama Data

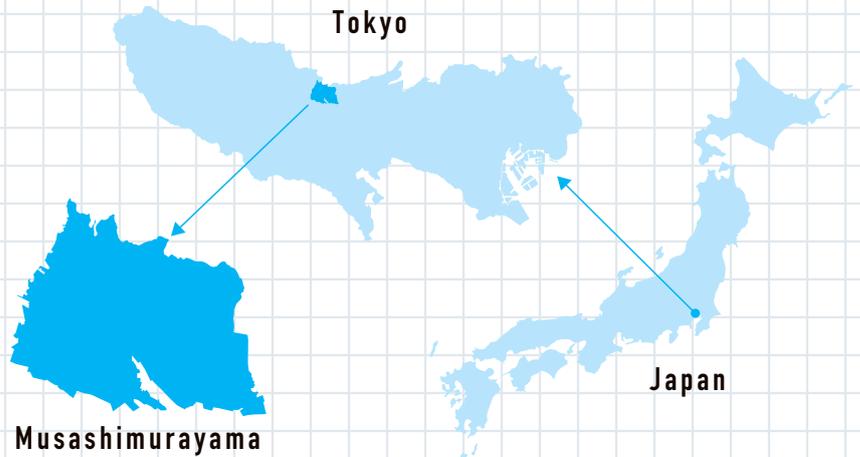
## ▶位置

東経 139度23分24秒

北緯 35度45分05秒

## ▶面積

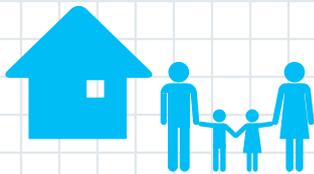
15.32 km<sup>2</sup>



## ▶地目別土地面積



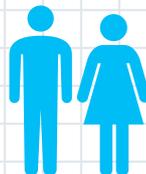
資料：課税課「固定資産概要調査」  
2019(平成31)年1月1日現在



## ▶世帯数

32,025 世帯

2020(令和2)年4月1日現在



## ▶総人口

72,277 人

2020(令和2)年4月1日現在



## ▶転入数(年間)

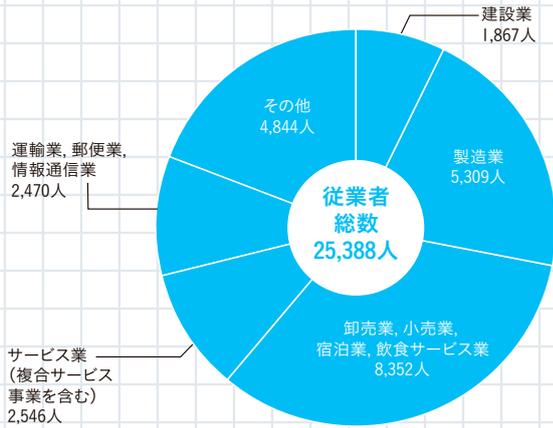
2,931 人

資料：e-Stat「住民基本台帳人口移動報告」  
調査年：2019(平成31～令和元)年

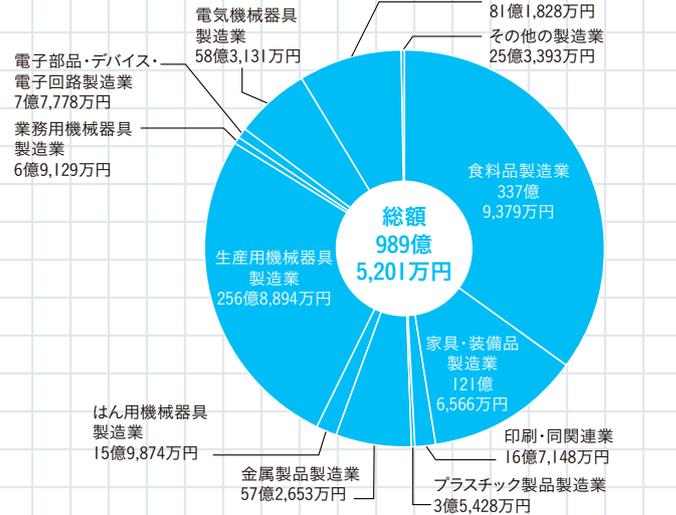
## ▶人口・世帯数推移



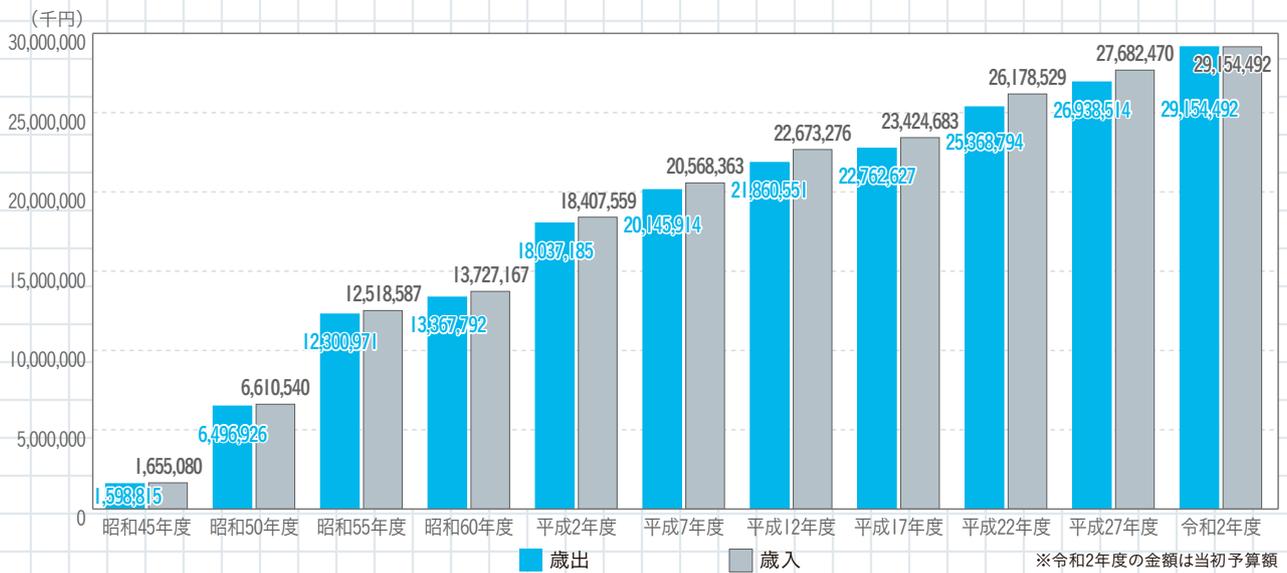
## ▶ 産業別就業人口 2016(平成28)年6月1日現在



## ▶ 製造品出荷額 2018(平成30)年6月1日現在



## ▶ 一般会計決算額の推移



小学校  
1学級あたり児童数



28.0人

出典:東京都教育委員会  
「令和元年度公立学校統計調査報告書」

中学校  
1学級あたり生徒数



29.8人

出典:東京都教育委員会  
「令和元年度公立学校統計調査報告書」

図書館蔵書数



1人あたり  
4.4冊

出典:東京都立図書館  
「東京都公立図書館調査 平成31年度」

公園面積



1人あたり  
17.8㎡

出典:東京都建設局  
「公園調査 2019(平成31)年4月1日現在」

1住宅あたり延べ面積



83.24㎡

出典:e-Stat  
「平成30年住宅・土地統計調査」

持ち家比率



61.3%

出典:e-Stat  
「平成30年住宅・土地統計調査」

合計特殊出生率



1.55  
2018(平成30)年

出典:東京都福祉保健局公式HP

茶の作付面積



1,165.1a

出典:産業観光課  
「平成30年度農耕地作付面積調査」

# Musashimurayama City Map

-  病院
-  消防署
-  お寺
-  警察署・交番
-  学校
-  神社



## 1 都立野山北・六道山公園 Noyamakita-Rokudoyama Park

狭山丘陵内の都立公園です。散策や自然観察、里山体験を楽しんだり、アスレチックで遊んだりできます。



## 2 村山温泉 かたくりの湯 Murayama Onsen "Katakuri no Yu"

地下1500メートルより汲み上げた天然温泉が自慢です。運動、ボディーケアや食事のできる設備もあり、一日中楽しめます。







# 50th Anniversary

## 武蔵村山市 市制施行50周年 記念誌

～みんなで未来をつむぐまち～

Musashimurayama City 50th Anniversary  
Commemorative Publication  
—A city forging the future together—

令和2(2020)年9月

〒208-8501 東京都武蔵村山市本町一丁目1番地の1

TEL:042-565-1111(代表) FAX:042-563-0793

<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/>

編集:武蔵村山市企画財政部秘書広報課

制作:株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

Published by Musashimurayama City / September 2020

1-1-1 Honmachi, Musashimurayama City, Tokyo, Japan

208-8501

TEL: +81-42-565-1111

FAX: +81-42-563-0793

